

広島協
NEWS

2020年1月 9号(通巻76号)

広島県室内装飾事業協同組合

〒733-0003

広島市西区三篠町1丁目7番4号

TEL 082-239-9281 FAX 082-239-9282

URL <http://hirosokyo.jp>

発行責任者 広報委員会委員長

小林 修

頌
春

年 頭 の ご 挨拶



広島県室内装飾事業協同組合
理事長 竹 内 剛

2020年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年も広島県室内装飾事業協同組合の事業に格別のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年で改元にともなう様々な行事が終わり、本

格的に令和という新しい時代が始まります。新天皇即位による祝賀ムードがあり、またラグビーワールドカップ日本大会における日本代表の大活躍と明るい話題が続きました。一方で、台風19号をはじめ自然災害は猛威をふるい、全国あちこちで復旧に苦勞されています。また10月の消費税増税による個人消費の落ち込みも心配されるところです。米中貿易問題が尾を引き、上場企業の決算も下方修正を余儀なくされています。

表彰を受けました

・防災関係者表彰・理事長表彰（日装連推薦）

11月21日（木） 於：明治記念館

（公財）日本防災協会防災関係者表彰式典にて、竹内理事長が親組合、青年部会活動を通じての防災・防火表示の普及と拡販に対して表彰されました。

当日は組合研修旅行と重なり欠席させて頂きました。

・中小企業庁長官賞（中央会推薦）

11月26日（火） 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京

中小企業等協同組合法施行70周年記念式典にて、広装協が組合設立55年を経て安定した事業内容での活動に対して、全国優良協同組合のひとつとして表彰されました。竹内理事長が出席。



中小企業庁長官賞・優良組合表彰（中央会推薦）
右から2人目 竹内理事長

春夏秋冬

令和の時代

理事・篠中山装飾 茂山和信

今年平成から令和へ年号が変わった。今回の令和への改元は静かに粛々に行われたような気がする。昭和から平成に改元するときは、国中がバブル景気に踊らされ、また消費税が初めて導入された時だと記憶する。昭和天皇の容体が連日テレビで放送されていたように思う。ただ何かとあわただしく静かにその時を迎えるという感じではなかった。とにかく人も街もまた我々の業界も活気があり、このまま未来永劫ずっと発展していくんだろうなと漠然と思っていた。夜の街から自宅に帰るのにタクシーがつかまらない、タクシー乗り場にタクシーがない、仕方ないので歩いて帰ったことも何度かあった。今思えばいい時代だったなと思う。それから2年後、バブルが崩壊した。ただ最初はそんなすぐに影響はなく、実感として景気が悪くなったと感じたのはそれから2・3年後くらいからか。だんだんとデフレが浸透し、ものの値が安ければよし、またものの価値観までそういう風になっていった。その時にだれか未来の若者の為に、日本の為に、この状況はまずいと声を上げてくれる人たちがいれば、少し現状は変わっていたのかと思う。

阪神・淡路大震災、リーマンショック、東日本大震災と大きな来事があった。気候変動によ

る大きな災害も各地であり、多くの人の命が失われ、今なお苦しんでおられる方も多数おられるなか、日本人の持つ誠実さ、勤勉さが世界の人たちから認められたことは大変うれしく、誇りにおもう。来年はオリンピック、パラリンピックが開催され、今建設バブルと聞く。イベントが終わったあと、景気が停滞することの無いよう今までの知恵を生かしてほしい。令和という時代がどんな風になっていくのかをみたいと思う。次の年号が変わるときに、またコメントしたいと思うがそれは無理か……。

追伸

先日青年部会の監修の中、私の高校の母校に体験技術指導へ行っていただきました。クロス施工の指導だったそうで、その中で女子生徒のほうが多く興味を持っていましたよと報告がありました。最近建築現場で女性の監督さん、また職人さんをたまに見かけます。そういう現場はトイレ、詰所もきれいにされていますし、気のせいか、男性の職人さんの服装も清潔にオシャレになっているような気がしています。ひょっとするとこの業界を大きく変えて魅力あるものにしてくれるのは女性の力かもしれませんね。

組合研修旅行・伊勢神宮旅行記

理事・(有)マキタエンタープライズ 横田 幸一郎

今回で4回目となる組合研修旅行は、さる11月20日～21日の一泊二日で伊勢神宮参拝となりました。私自身は伊勢神宮へ参拝したことがなく、またとない機会と思い水曜木曜の日程ではありましたが、参加させていただきました。新大阪からバスにて伊勢までという行程でありましたが、その車中での、平理事のすばらしい解説により、伊勢神宮にまつわる、古事記の世界、また伊勢神宮へ参拝する意味など、教えていただき、身の引き締まる思いで、参拝することとなりました。

皇大神宮（内宮）へ到着し、現地ガイドの方に解説していただきながらの参拝となりました。奇しくも22日～23日は天皇皇后両陛下が、即位のご報告をなさるということで、伊勢神宮へ参拝されることが決定しており、その前の参拝となったのです。本殿前には、特別な木造の屋根つき廊下が作られるなど、通常の参拝では決して見られることのない風景でした。天皇皇后様がこられるということで、警備は当然ながら様々な準備が着々と進められてる様子を平成のときの上皇様の参拝の写真をおりまぜながら、ガイドしていただき、とても重要な時期に参拝にこれたのは、すばらしいことだと感じることができました。伊勢神宮は、個人の願望でなく、「世界平和」など人類のための広義のお祈りをする場所であるそうです。我々

も、世界平和とともに、内装業界の発展をお祈りしてまいりました。

今回は、内容、行程のおかげか、女性の方5人参加いただきまして、今までに経験のない、旅行にもなりました。宿泊施設での宴会も和やかなムードで、執り行われたと感じました。2日目は、ゴルフ



ガイドの方はとても丁寧な説明でした



フ組と別れ、観光組はまず外宮（豊受大神宮）参拝をしまして、二見興玉神社（夫婦岩）と、参拝を重ねました。賓日館という天皇家もお泊まりになる施設へ入館し、中を見させていただきましたが、素晴らしい内装でした。1間の幅があるふすま、その持ち手。大広間の天井の装飾、屏風絵、舞台の板絵、建具へ貼ってある表装など、江戸から明治、大正から受け継ぐ、素晴らしい内装を見ることができました。また、お天気も良く車中からも、ゴルフ組も味わったであろう、リアス式海岸の素晴らしい景色を堪能することができました。今回、日本の精神的中心の地へ赴き、様々なことを見聞きした体験は、また、帰ってからの日々の勇気へと変わることを感じました。以上旅行記といたします。



天皇皇后両陛下の新謁の儀の為に屋根が設けられた内宮正殿に至る階段

賛助会員ご紹介

東リ株式会社 広島営業所

中国四国ブロック統括部長 木村 博 次

新年明けましておめでとうございます。

平素より、広装協会員の皆様には、東リ並びに賛助会員への格別なご支援を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、弊社にとりまして大きな節目となる『創業100年』を昨年12月に迎えることが出来ました。

『創業100年』を機に、【私たちは「信頼」を糧として新たな価値を創造し、世界の人々の心豊かな空間環境づくりに貢献します。】という新経営理念を設定いたしました。新経営理念の実現に向けて、ここ広島の地でも努力してまいりたいと思っております。

中国エリアの拠点である広島営業所は、1966年に出張所として開設、1974年に営業所に昇格して本格的に営業活動を開始いたしました。営業所に昇格した年に、国産初のクッションフロアー「CHシート」を発売し、極めて大変な忙しさであったと聞いております。その後1975年には岡山出張所が開設され中国エリアは2つの拠点での展開が始まりました。現在の広島営業所は、広島県を中心に、山口県、島根県の3県を担当し、営業職6名、フロアーセールス6名の12名体制で、フロアーセールスは広島だけでなく、四国の各営業所の受発注も担当し、中四国の業務センターとしての役割を果たしています。中国エリア最大都市である広島県での営業活動の比重が大きくなっていますが、中国地方の広範囲を担当し、営業マンは出張営業も多く、フロアーセールスを含めた所内での協力体制が不可欠となります。普段からのコミュニケーションを重視し、上手く業務を連携して、お客様に迷惑をかけない営業体制に努めてまいり

ます。働き方改革の推進には多くの解決すべき課題が山積しております。残業時間の削減など、ただ時短を行うのではなく、労働時間の中身を重視し、エリ



アに即した広島営業所らしい、効率的な営業活動を確立していきたいと考えております。

これまでに「リノリウム」をはじめ、「クッションフロアー」や「タイルカーペット」など数々の国産初となる製品を開発、発売してまいりました。メーカーの使命であります『モノづくり』において、IT技術の進化と共にライフスタイルが多様化していく中、時代の変化に対応する柔軟性とスピード感で「確かな品質と技術」に裏づけされた、皆様のお役に立てる、利益の源になるモノづくりに邁進していきたいと考えております。

本年はいよいよ、東京オリンピック、パラリンピックの開催で首都圏中心に盛り上がりを感じられますが、我々の業界、中国エリアを取り巻く環境はまだまだ厳しいと言わざるを得ません。そんな時こそ、皆で知恵を出し合い、中国エリアの明日を真剣に考える機会だと思います。広装協会員の皆様のご意見を数多く拝聴し、全社に発信してゆきたいと考えております。今年も、何卒ご支援ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

青年部会活動

日装連青年部・次世代全国代表者会議

理事（青年部会長）・日装連次世代委員・青山装飾㈱ 青 山 和 之

全国各単組の青年部・次世代を担う代表者による第1回目の代表者会議をさる11月13日ジャパンテックス会場内東京ビックサイト101会議室にて日本室内装飾事業協同組合連合会青年部・次世代委員会主催で行いました。



司会進行：青山部会長

各単組の後継者候補者や若手組合員の方々に、次世代組織の育成と活性化を目的として、ご参加のお願いしましたところ49組合中約40名の参加で開催することができました。

前半は日装連の事業報告として、日装連ID

社内認定制度とリフォーム推進協議会、新しい外国人材の受け入れ（特定1号2号）についてご説明いただきました。後半は事前アンケート回答により、事業活動が活発な単組青年部の事業を6単組ご紹介いただきました。発表していただきましたのは埼玉県、長野県、大阪府、和歌山県、福岡県の皆様と私ども広島県です。活発な青年部会活動の情報共有を目的にどのようにしてこの事業が出来たのか。また、その結果となる効果をご紹介いただき、他地域の今後の事業展開に参考にいただければとの思いで発表していただきました。

その後、6テーブルに分かれてテーブルディス

カッションに入りました。登壇しました単組以外の取り組みを発表してもらい、良いと思われる活動を参考に話し合っていました。各自の単組の青年部会に持ち帰れるような案件や、20～30代へ橋渡しするための準備としての課題や検討などをお話していただきました。最後に今後どのような行動をしていくことが業界のためになるかをテーブルごとに発表してもらいました。今回、次世代の組合及び日装連の発展に繋がるような討議の場を提供するという思いのもと、日装連椎津副理事長と岡山委員長はじめ各ブロック委員の皆様と共に準備を進めてまいりました。司会者の私の不慣れなためいろいろご迷惑おかけしたかと思いますが、ご参加の皆様に助けていただき無事閉会することができました。

多数のご意見として参加して内容に満足した、次回開催に興味がある、各単組の活動の課題は会員拡大が進まないこと、親組合は青年部会に理解を持っているが、20～30代の若者教育はなかなか進まない状況であることがアンケート調査で分かりました。この会議が今後各単組の活動が活発になり、他県との交流が生まれ、各単組織が成長につながるきっかけとなれたらと思います。このたびこのような貴重な役割を与えていただき本当にありがとうございました。



活動報告：佐々木副部会長

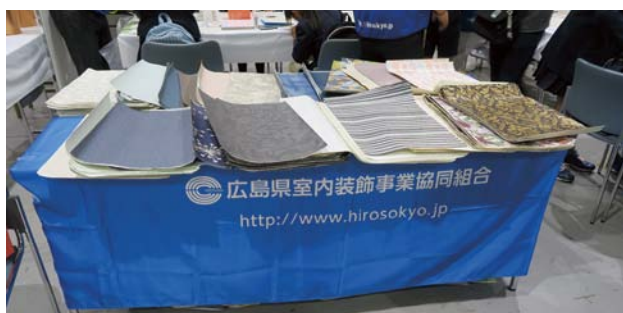


第36回広島技能フェア・広島ものづくりフェスタ

青年部会副部長・(株)インテリアヒロ 佐々木 健

さる10月29日（水）・30日（木）の両日、広島技能フェア・広島ものづくりフェスタに青年部会で参加しました。この催しは、広島県及び広島県技能振興コーナー（広島県職業能力開発協会）が主催するイベントであり、県立広島産業会館 西展示館「第1～第4展示場」にて毎年開催されています。今回で第36回となりますが、我々青年部会としての参加は、3回目となります。技能とつく名前の通りに、色々な職種の技能を体験する事が目的であり、出展者は一般企業、大学、専門学校、各業種の組合などで体験出来る内容も多種多様になっています。今年は42団体でした。各都道府県でも同様に開催されていると思いますが、来場者は、小中高生、専門学校生、一般と幅広く広島県の場合は毎年5,000名近くの来場者があります。

我々は3年連続で「オリジナルファイル作り体験」を出展しています。オリジナルファイルとは、A4サイズの書類を収納出来るファイルで、内と外に使用する仕上素材に壁紙を使って製作する物です。工業高校への体験授業でも壁紙施工と合わせて実施しています。本来の技能とは異なります



休む間もなく盛況でした

が、“壁紙”を知って貰い、また触れていただくきっかけになればいいと思っています。ブース来場者にファイルの装丁に使う壁紙と内側のクリアファイルについて好きな柄や色を選んで貰い、我々スタッフが指導しながらオリジナルファイルに作り上げて行くのですが、早い方で30分、1時間位掛かる方もおられます。こればかりは、大人も小人も関係なくセンスの問題とスタッフの教え方の様です。昨年の来場者の体験アンケート回答では、他団体の“こけ玉づくり”と並んで我が“オリジナルファイルづくり”は高評価でありました。開催当日の運営に限らず、ファイル用壁紙や台紙の裁断などの事前準備もかなり大変なのですが、体験された方々が、自身で作成されたファイルを非常に満足して持ち帰って行かれるのを見ると我々



僕たちだけの、わたしだけの
ファイルが作れました



も大変嬉しくなります。

体験した学生さんが内装業界に必ず入る訳でもなく、また一般の方がお客様になる保証もありますが、意外と知られていない内装仕上げの世界に近づいて頂くには、有効なイベントであるといえます。一度もこのイベントを見たことがない組

合員、メーカーの方々に於かれましては、次の機会に是非気軽に覗いて青年部会は、こんな事しているのだと知っていただければ幸いです。

今年のご協力、参加頂きました皆様大変お疲れ様でした。有難うございました！

高校生新卒求人について

青年部会部会長・青山装飾㈱ 青 山 和 之

内装業界が次世代の人材確保をするには、数多くある職種の求人競争の中で高校新卒の学生を確保していかなければならないと思います。その為には技能体験学習、インターンシップ、技能検定3級の普及活動を積極的に実施していく事が重要です。

青年部会では今年度に入り新たな試みとして、福山工業高校、総合技術高校、宮島工業高校、広島県立工業高校、広島市立工業高校の各担当教諭に対し『求職アンケート』また体験授業を実施した各校の学生に対しては『壁紙施工体験授業アンケート』の配布回収を行いました。その内容をご報告させていただきます。

まず技能体験授業では、壁紙を使用したファイル作成、またダストボックスに化粧フィルム貼り施工、そして現場作業と同様にベニヤ板を使用した壁紙の糊付けから貼り施工の一連作業を体験してもらいました。材質の特性、取扱方法、施工の難しさ、楽しさを実際に肌で感じてもらえたと思います。また絵柄付壁紙貼施工を実演した事で、内装業についての認知が出来、さらに興味を持った生徒が潜在的に存在している事実や担当教諭からの反響も大きい事が判明しました。

第二にインターンシップの実施が重要です。各校の担当教諭から共通して教示がされた事は、高校生は就職希望をする際、業界についての認識が乏しく、企業を選ぶにあたり重視しているポイントは、先輩が入社、人材育成の体制が充実、体験授業を受けて印象に残った、ジュニアマイスターの検定に合格をした等だそうです。インターン

シップ参加をする際には、この点を非常に重視しています。さらにインターンシップに参加した企業に、就職を希望する生徒が、多数を占めているということが分かりました。その為、インターンシップを実施するにあたり、職場の雰囲気、現場作業、従業員の印象などの情報をしっかりと公開する事で、求人応募内容と入社後のミスマッチによる早期退職の防止にも繋がると考えられます。

第三に技能検定3級の普及が必要だと思われます。インターンシップと併せて担当教諭から教示があったのは、他職種（左官・大工・鳶）は既に職業能力開発協会と連携し非常に整備が進んでおり、また学校としても『ジュニアマイスター』の顕彰制度の加点対象になる為、積極的に通常授業科目や別途授業枠を設置する等の取組を行っています。さらに生徒は検定を合格できるよう積極的に学習に取り組んでおり、就職する際には検定を実施した業界を希望する可能性が高いようです。内装業界としても、普及活動には最優先に取り組んでいかなければ、他職種との競合では後塵を拝し続ける事となるのではないかと考えられます。

内装業界が建設業の他職種との競争の中で人材確保していくには、上記三点を常に意識し実施していく事が重要だと考えられます。

最後に高校生向け求人募集は、取扱窓口、求人票の記載方法、提出期限、事前説明会参加等のルールが労働局で厳格に決まっており、募集をする際にはハローワークにて作成及び提出をしなければならないので、所管のハローワークへのお問い合わせをお願いいたします。

中国ブロック青年部意見交換会

青年部会副部長・MA-DO(株) 池田 なおみ

さる11月22日（金）に松江ニューアーバンホテルで、令和元年度中国ブロック青年部意見交換会が開催されました。

来賓には島根インテリア事業協同組合三島正治理事長、日総連青年部次世代委員会岡山隆昭委員長を迎え、島根・鳥取・山口・岡山・広島の各県青年部部長・福部会長他約20名ほどの参加となりました。

第1号議案：各県青年部活動報告及び現状報告では、それぞれの青年部が今後の内装業界の未来を危惧し、次世代の発掘・教育という課題に『工業高校体験授業』『企業訪問』『SNS配信』『資格取得勉強会』『ボランティア』など事業を通じて、今後の青年部の目指す方向を模索しながら、お互いが切磋琢磨し日々挑戦している実態を共通認識とする事が出来たと思います。

第2号議案：日総連青年部次世代委員会については、『次世代委員会』については岡山委員長より「今まで3Kのイメージがついている内装業界を意義のある、やりがいのある仕事だということを、これからの世代で発信して行こう」とお話をいただきました。

青年部の事業で『体験授業』があります。私が携わって4年になりますが、生徒の多くが「内装



業の仕事内容がわからない」、「将来の選択肢にない」という意見が多数です。これが内装業界の現実です。まずは知ってもらうことが重要な課題ではないでしょうか。

『次世代委員会』は全国の組織連携を持ち、私たち世代が市場と情報を共有でき活用できる場であると思います。単組だけの活動・情報収集では小さな結果しか得ることができないと思いますが全国の青年部との連携・協力で大きな力となり、先の課題もクリア出来ていくのではないのでしょうか。

今回の中国ブロック青年部意見交換会は鳥取県で開催予定となりました。来年の意見交換会では、本年の議題をふまえ、青年部の会員増強や新たな事業の報告などが各単組で報告できればと願います。

卸街まつりに出店

青年部会監事・(有)インテリア タウラ 田浦 慶太

青年部会が毎年取り組んでいます企画として、卸街まつりへの出店があります。広島市西区商工センター内の卸問屋の有志で毎年行われているイベントです。さる12月7日(土)、8日(日)二日間開催され、青年部会の出店は今回で6回目となります。リピーターが増え、組合の名前が徐々に広がっているように感じます。事業のコンセプトと



して、材工共の建設現場などのロスで出た材料や廃番になって使われない商品等を、より手に入りやすい価格でお客様に提供できるよう努めています。

今年もタイルカーペットの売れ行きが良く、これを目当てで来店するお客様がかなり増えています。開始時間の10:00も待ちきれない様子で、早々と驚くほど買われていきました。ホームセンターとよく比較するお客様もいますが、建設現場のロスの為ランクが良い商品とわかりやすいデザインの物も有り、さらに枚売りができ500角と扱いやすいと評判です。販売もしやすく現場知識で並べ方や施工方法、寸法等アドバイスできる商品です。初日でタイルカーペットが約1400枚売れました。



新 部 会 員 紹 介



株式会社沼尾工芸

代表取締役
沼尾 一

尾道で内装／家具／看板のデザインから工事まで、一括でご相談できる会社をしております。適正価格で、質の高い工事品質を信念に、お客様の「ことば」では伝えきれない思いを、「かたち」として生み出すお手伝いをしております。

生まれ育ってきた広島を、青年部の活動を通して、再発見し、自分の成長に繋げたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。

二日目もタイルカーペットがメインに売れていく中、カーテンのはぎれの売れ行きが今一步で段ボール4箱分が余っていましたが、皆で知恵を絞り終了間際には、残り1箱までなんとか売ることが出来ました。部会員の個性や経験などを活かし、普段は余りする事がない対面販売を通じて、色々なお客様と直接に触れ合う事が出来、尚且つ一般ユーザーに室内装飾業が知れ渡る事が出来てうれしく思います。各事業所に残っていれば、いずれお金を払って廃棄せざるをえない商品ではあります。我々が出店しお手頃価格で購入されたお客様が満足されるという、一連の流れは究極のエコロジーだと実感致しました。

この6年間の出店では毎年売上が上がってきてます。今回も売り上げ新記録が出たと聞いてます。毎年常連のお客様から『毎年楽しみにしてるよ』と言われるとまた来年も頑張らないといけないなと思います。

皆様、また来年に向けての材料集めのご協力をよろしくお願い致します。

新 会 員 の 紹 介

(令和元年10月～12月加入)

★正組合員

- ・(株)中国インテリア 代表者 林 拓 磨
広島県安芸郡府中町宮の町4-19-8
- ・(株)増建 代表者 増 原 義 文
広島市安佐南区祇園6-30-3 B-205
- ・(株)TFJカンパニー 代表者 船 石 正 志
広島市佐伯区五日市町石内4514-1

★准組合員

- ・カタヤマ内装 代表 片 山 清
広島市中区基町19-1-730
- ・インテリアK 代表 掛 橋 力
呉市東塩屋町2-7

資格取得をされました

・登録内装仕上基幹技能者講習会・広島会場 (日装連、全室協、JCIF主催)

10月23日(水)～25日(金)

組合員14名が資格取得されました。

登録内装仕上げ基幹技能者資格取得者名簿

2019.10.23～25 広島会場

番号	事業所	氏名
1	青山装飾(株)	ヨシ ムラ イキル 吉 村 生
2	青山装飾(株)	モリ ワキ モトム 森 脇 求
3	青山装飾(株)	マツ モト シン 松 本 伸
4	青山装飾(株)	シン マス トシ アキ 新 升 俊 明
5	青山装飾(株)	サ サ キ ヒデ フミ 佐々木 秀 文
6	青山装飾(株)	クワ モト ダイ スケ 桑 本 大 輔
7	青山装飾(株)	ナカ ムラ タイ ゾウ 中 村 泰 三
8	(有)インテリアケンソウ	ハマ モト ヒロ カズ 濱 本 宏 和
9	(株)日本パーカーライジング広島工場	タカ ス カ ユウ キ 高須賀 裕 貴
10	インハウスニシモト	ニシ モト セイ ジ 西 本 誠 司
11	(有)ウッドライン	キ サ スキ ヨシ ヒコ 木佐貫 良 彦
12	(有)わかばやし装飾	ワカ バヤシ リョウ スケ 若 林 亮 輔
13	(有)西村工業	ニシ ムラ ヤス ノリ 西 村 泰 典
14	(株)インテリア誠	ハマ ダ マコト 濱 田 誠



・有機溶剤作業主任者講習会 (（公社）広島県労働基準協会主催)

11月16日(土)～17日(日)

組合員20名が資格取得されました。

登録内装仕上げ基幹技能者資格取得者名簿

2019.10.23～25 広島会場

番号	事業所名	氏名
1	(有)セラケンサービス	セ ラ カズ ヒコ 世 良 和 彦
2	(有)セラケンサービス	イズ ワ リョウ スケ 出 羽 亮 介
3	(有)セラケンサービス	タ ナカ カズ ソウ 田 中 一 双
4	(有)セラケンサービス	ヤマ ガタ トシ アキ 山 縣 俊 明
5	(有)セラケンサービス	オ ザキ クニ オ 尾 崎 邦 雄
6	(有)タマルヤ室内装飾	ミツゴウ チ ヒロ キ 三河内 啓 生
7	(有)アン・シャーリー	マツ オカ ヒデ テン 松 岡 秀 典
8	(株)建装	ヤマ ネ とし ヒロ 山 根 稔 弘
9	(株)建装	フル カワ ジ ロウ 古 川 次 郎
10	(株)TFJカンパニー	フナ イシ タカ ヒロ 船 石 隆 弘
11	青山装飾(株)	マツ モト シン 松 本 伸
12	青山装飾(株)	クワ モト ダイ スケ 桑 本 大 輔
13	青山装飾(株)	ソデ カワ タカ シ 袖 川 崇 志
14	インテリアハウス	タカ タ ヤス ナリ 高 田 康 成
15	インテリアムラ	ムラ カミ ヤス ノリ 村 上 康 規
16	アスワン(株)広島支店	タマ リ マサ エ 玉 利 優 枝
17	アスワン(株)広島支店	ホン ダ ジ ロウ 本 田 二 郎
18	アスワン(株)広島支店	カネ オカ アツ シ 金 岡 篤 志
19	(株)中山装飾	シゲ ヤマ カズ ノブ 茂 山 和 信
20	アサヒ装飾(株)	ハラ ダ イワイ 原 田 祝

・内装仕上技能者能力評価基準 認定される

国交省は建設キャリアアップシステムと連携して、技能者の能力を客観的に評価する内装仕上げの「能力評価基準」について、さる10月25日に下記の通り大臣認定されました。

今後は保有資格等の登録により、技能者の能力評価は適正に行われる方向です。

建設キャリアアップシステム
【内装仕上技能者能力評価基準】

	就業日数	保有資格	職長・班長としての就業日数
レベル4 (ゴールド)	2150日(10年) 以上であること	●登録内装仕上工事基幹技能者 ●優秀施工者国土交通大臣顕彰 ●安全優良職長構成労働大臣顕彰 ●1級建築施工管理技士 ●卓越した技能者(現代の名工) ・レベル2、レベル3の基準に示す保有資格	職長としての就業日数が645日(3年)以上であること。
レベル3 (シルバー)	1075日(5年) 以上であること	●1級技能士(内装仕上げ施工職種または表装職種) ●青年優秀施工土地・建設産業局長顕彰 ●2級建築施工管理技士 ・レベル2の基準に示す保有資格	職長又は班長としての就業日数の合計が645日(3年)以上であること。
レベル2 (ブルー)	645日(3年) 以上であること	●2級技能士(内装仕上げ施工職種または表装職種) ●足場の組立等作業従事者特別教育 ●自由研削といしの取替え等の業務特別教育 ●有機溶剤作業主任者技能講習 ●丸のこ等取扱作業安全教育 ●玉掛け技能講習	
レベル1 (ホワイト)	建設キャリアアップシステムに技能者登録をされ、かつ、レベル2からレベル4までの判定を受けていない技能者		

●印の保有資格については、いずれかの保有で可

2019年10月25日 国交省大臣認定

組合からのお知らせ

・令和2年度(第56期)通常総会・永年勤続従業員表彰式

於：リーガロイヤルホテル広島

令和2年5月28日(木) 16:00~17:30

＜総会・表彰式＞

18:00~20:00

＜懇親会＞

※組合の最重要活動につき、組合員の多数ご出席をお願いします。

ご案内は5月になります。

・防火壁装・防災業務講習会

令和2年7月6日(月) 東部地区

於：備後地域地場産業振興センター

7日(火)~9日(木) 西部地区

於：RCC文化センター

※3年毎の更新講習につき、壁装施工管理者の方は、必ずご出席をお願いします。ご案内は5月になります。

・広装協NEWS10号は令和2年7月中旬頃の発行です。

編集後記

広報委員会委員長 小林 修

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

2020年の今年の干支は「庚子」であり、新たな芽吹きと繁栄の始まりの年だといわれています。そして今年は、いよいよ東京オリンピック開催という事で、大変楽しみにしている方も多いと思います。災害のない、明るい話題のある一年になることを願っています。

広報委員会としても、より興味を持ち読んでもらえるような中身の濃い紙面を作るべく努力して参りますので、本年もよろしくお願いいたします。